

授 業 計 画

No.1

授業科目	スポーツ実習		担当教員	生沼秀樹	クラス	ITスペシャリスト科1年	
期別	前期	履修コマ数	1コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	この科目は、スポーツに親しむことによって、体を動かすことで爽快感・達成感・他者との連帯感等、精神的な充足も図り、更には、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を目的とする。 また、様々なスポーツを経験することで新しい気付きや、楽しさを発見する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	80 %	他	20 %
教科書	なし			副教材および参考文献	なし		

	講 義 計 画		実 施 細 目	
	A種目	B種目	A種目	B種目
第1回	ガイダンス		全体の流れと今後のスケジュール確認	
第2回	バレーボール①	バスケットボール①	トス練習 → 紅白戦	パス練習 → 紅白戦
第3回	バレーボール②	バスケットボール②	トスリレー → 紅白戦	パスリレー → 紅白戦
第4回	バレーボール③	バスケットボール③	レシーブ練習 → 紅白戦	ドリブル練習 → 紅白戦
第5回	バレーボール④	バスケットボール④	レシーブリレー → 紅白戦	ドリブルリレー → 紅白戦
第6回	バレーボール⑤	バスケットボール⑤	サーブ練習 → 紅白戦	シュート練習 → 紅白戦
第7回	バレーボール⑥	バスケットボール⑥	サーブ陣取り合戦 → 紅白戦	シュート対決 → 紅白戦
第8回	バレーボール⑦	バスケットボール⑦	紅白戦	紅白戦
第9回	バレーボール⑧	バスケットボール⑧	紅白戦	紅白戦
第10回	バレーボール⑨	バスケットボール⑨	紅白戦	紅白戦
第11回	バレーボール⑩	フットサル①	紅白戦	パス・ドリブル練習 → 紅白戦
第12回	バレーボール⑪	フットサル②	紅白戦	シュート練習 → 紅白戦
第13回	バレーボール⑫	フットサル③	紅白戦	パス・ドリブル練習 → 紅白戦
第14回	バレーボール⑬	フットサル④	紅白戦	シュート練習 → 紅白戦
第15回	バレーボール⑭	フットサル⑤	紅白戦	紅白戦
第16回	バレーボール⑮	フットサル⑥	紅白戦	紅白戦

授 業 計 画

No.1

授業科目	国際コミュニケーション		担当教員	竹井 透	クラス	1年全クラス(選択)	
期別	前期	履修コマ数	※ コマ/週	授業形態	演習	単位数	2

※7月～9月

授業概要	<p>この科目の中心となる「マレーシア・ミニ留学」をグローバル人材育成の一環として実施する。 過去5年間にわたる本校マレーシア ミニ留学を通じて蓄積した経験を生かし、1年生を対象に、前期の選択科目として位置づける。マレーシア留学の前後に事前学習・事後学習を実施する。 ただし受講生については、費用の一部にマレーシア奨学金制度を利用するため、選抜試験を実施し、合格者のみを対象とする。</p>						
評価方法	成績評価	マレーシア研修でグループワークへの取り組み姿勢、事前学習での意欲度、事後学習での課題の発表等の総合成績で評価する。					
	評価割合	試験	0 %	課題	50 %	他	50 %
教科書	マレーシア・ガイドブック (マレーシア政府観光局発行)			副教材および 参考文献		プリント(英会話他)	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	事前学習①	オリエンテーション・基本英会話(学校)
第2回	事前学習②	マレーシアの歴史と文化・基本英会話(学校)
第3回	事前学習③	グループワーク 事前準備・基本英会話(学校)
第4回	マレーシア研修	グループワーク(inkアラルンプール)
第5回	マレーシア研修	グループワーク
第6回	マレーシア研修	グループワーク
第7回	マレーシア研修	グループワーク
第8回	マレーシア研修	カレッジ交流 ※UTAR大学
第9回	マレーシア研修	カレッジ交流
第10回	マレーシア研修	カレッジ交流
第11回	マレーシア研修	グループワーク
第12回	マレーシア研修	グループワーク
第13回	マレーシア研修	グループワーク
第14回	マレーシア研修	グループワーク
第15回	マレーシア研修	グループワーク
第16回	マレーシア研修	グループワーク

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	マレーシア研修	グループワーク
第18回	マレーシア研修	グループワーク
第19回	マレーシア研修	グループワーク
第20回	マレーシア研修	グループワーク
第21回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ ※マラッカ(2泊3日)
第22回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ
第23回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ
第24回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ
第25回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ
第26回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ
第27回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ
第28回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ
第29回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ 閉村式
第30回	事後学習①	グループワーク まとめ(学校)
第31回	事後学習②	グループワーク まとめ(学校)
第32回	事後学習③	グループワーク 発表会(学校)

授 業 計 画

No.1

授業科目	ハードウェア		担当教員	沼田 聡暁	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	前期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	講義	単位数	4

授業概要	ハードウェアの分野を取り扱う。 授業では教科書をベースに、随時確認テストを実施しながら進める。 ハードウェアの基礎の知識や確認テストの解説も随時行っていく。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	ITワールド			副教材および 参考文献		オリジナル	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	コンピュータの基本構成	五大装置、基数変換(2進数、10進数)
第2回	コンピュータのデータ表現①	単位、基数変換(8進数、16進数)
第3回	コンピュータのデータ表現②	文字データ、基数変換(8進数、16進数)
第4回	10進表記と固定小数点	ゾーン10進、パック10進、固定小数点
第5回	浮動小数点	浮動小数点
第6回	補数	補数
第7回	シフト演算	誤差、論理シフト、算術シフト
第8回	中央処理装置・主記憶装置の構成	中央処理装置・主記憶装置の構成、シフト演算まとめ
第9回	命令とアドレッシング	割り込み、論理演算
第10回	論理回路	論理演算、半加算、全加算、高速化技術
第11回	総復習1	1～5回目の内容の総復習
第12回	総復習2	6～9回目の内容の総復習
第13回	高速化技術	キャッシュ計算、プロセッサの高速化
第14回	補助記憶装置①	磁気ディスクの計算
第15回	補助記憶装置②	平均アクセス時間
第16回	補助記憶装置③	磁気ディスクの計算まとめ

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	補助記憶装置④	磁気ディスクの計算まとめ
第18回	入出力装置①	入力装置
第19回	入出力装置②	出力装置
第20回	総まとめ	総まとめ
第21回	分野別 計算	分野別問題 計算
第22回	分野別 理論	分野別問題 理論
第23回	分野別 基本構成	分野別問題 コンピュータの基本構成
第24回	分野別 データ表現	分野別問題 コンピュータのデータ表現
第25回	分野別 補助記憶装置	分野別問題 補助記憶装置
第26回	分野別 入出力装置	分野別問題 入出力装置
第27回	期末試験対策①	基礎理論
第28回	期末試験対策②	中央処理装置
第29回	期末試験対策③	補助記憶装置
第30回	期末試験対策④	総復習
第31回	模擬試験	模擬試験の実施
第32回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	情報システム		担当教員	小野 健裕	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、ITエンジニアの基礎となる情報処理システム、ソフトウェアの基本的な知識を習得することを目的とする。 授業では教科書をベースに、サブノートを活用し、随時確認テストを実施しながら進める。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	20 %	他	10 %
教科書	ITワールド			副教材および 参考文献		過去問題 (オリジナル)	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	科目のガイダンス	自己紹介、授業の進め方
第2回	情報処理システムの処理形態	非対話処理と対話処理、一括処理と即時処理
第3回	高信頼化システムの構成	直列システム、並列システム、多重化システム
第4回	情報処理システムの評価	処理能力の評価
第5回	ヒューマンインターフェース	ユーザビリティとアクセシビリティについて
第6回	マルチメディア	PCMによる符号化手順
第7回	ソフトウェアの分類	マイクロカーネルとモノリシックカーネルについて
第8回	OS(オペレーティングシステム)	UNIXとLinuxにおける歴史と機能について
第9回	プログラム言語と言語プロセッサ	手続型言語とオブジェクト指向言語
第10回	総復習	1～9回目の総復習
第11回	ファイルの方式	ファイルのアクセス方式、ファイル編成方式
第12回	期末試験対策①	期末試験対策(情報処理システム)
第13回	期末試験対策②	期末試験対策(ソフトウェア)
第14回	総復習	総まとめの実施
第15回	模擬試験	模擬試験の実施
第16回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	情報セキュリティ		担当教員	吉永 崇志	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目はIT業界で働く上で知っておくべき情報セキュリティ技術と対策について学ぶ。 講義テキストに沿ってセキュリティの基礎を学びつつ、セキュリティに関する事例を紹介し授業の理解を深めていく。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	なるほど！情報セキュリティ			副教材および参考文献		プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	情報セキュリティ概要	情報セキュリティの定義と管理対象
第2回	コンピューターウイルス	ウイルス(マルウェア)の種類と特徴
第3回	フィッシング攻撃	フィッシングの定義、フィッシング関連の攻撃技術
第4回	標的型攻撃	標的型攻撃の概念とAPT(Advanced Persistent Threats)
第5回	WEBサイト攻撃	WEBサイトの改ざんとサービスに対する攻撃、WEBサイト利用者への攻撃手口
第6回	暗号化	共通鍵暗号方式、公開鍵暗号方式
第7回	認証	メッセージ認証、利用者認証
第8回	確認テスト	これまでの内容に関する確認テストの実施
第9回	サイバー攻撃対策とデジタル証明書①	パケットフィルタリングとは
第10回	サイバー攻撃対策とデジタル証明書②	契約の概念、サーバー証明書、クライアント証明書
第11回	モバイルセキュリティ①	無線LANセキュリティ
第12回	モバイルセキュリティ②	スマートフォン、モバイルPCでのセキュリティ対策
第13回	セキュリティ関連法規	情報セキュリティに関する法律とコンプライアンス
第14回	セキュリティ動向	最新のセキュリティ技術に関する動向の紹介
第15回	模擬試験	模擬試験の実施
第16回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	ネットワーク基礎		担当教員	吉永 崇志	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は職場で必要なネットワークの基礎について学ぶ。 また、ネットワーク技術と関連する事例について講義で取り扱い、ネットワークに関する基本用語や知識の獲得を目的とする。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	ITワールド			副教材および 参考文献		プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	インターネットの概要	ネットワーク中でのインターネットの位置づけ
第2回	インターネットの接続方法	インターネット接続にまつわる構成要素
第3回	インターネットサービス	IPSが提供している各種サービス
第4回	インターネットプロトコル	IPアドレス、MACアドレスの活用
第5回	OSI参照モデル	物理層～アプリケーション層
第6回	ネットワークアーキテクチャ	TCP/IPモデルと各階層
第7回	LAN	LANの概要、トポロジ
第8回	LAN間の接続装置	LAN間の接続装置とドメイン分割
第9回	確認テスト	これまでの内容に関する確認テストの実施
第10回	データ通信の仕組み①	通信の同期方式、誤り制御方式
第11回	データ通信の仕組み②	通信の伝送方式、通信方式、接続方式
第12回	ネットワーク運用管理①	構成管理、障害管理
第13回	ネットワーク運用管理②	セキュリティ管理、性能管理、課金管理
第14回	ネットワーク管理手法	ネットワーク管理に関するツールとプロトコルの把握方法
第15回	模擬試験	模擬試験実施
第16回	期末試験	期末試験実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	データベースとSQL		担当教員	小野 健裕	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	リレーショナルデータベースを基にデータベースの基礎知識、SQLなどを学ぶとともに実際のアプリケーション開発を行う上で必要となるデータベースの接続方法を学ぶ。授業を通し、データベースエンジニアとしての業務内容を理解することを目的とし、Accessを使用しながら理解を深めていく。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	10 %	他	10 %
教科書	データベースとSQL			副教材および参考文献		課題プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	第1～2章 データベース管理	概要説明、データベースの概要、テーブル定義など
第2回	第3～4章 データモデル	主キー、外部キー
第3回	第5章 データベースの定義	CREATE命令、DROP命令
第4回	集合関数とグループ集計/整列	SUM、AVG、COUNTの使い方
第5回	データの挿入/削除/更新	INSERT命令、DELETE命令、UPDATE命令など
第6回	複数のテーブル操作	外部結合(OUTER JOIN)について
第7回	ビュー	CREATE VIEWの定義の仕方
第8回	副照会	IN句とNOT IN句の使い方
第9回	副照会の応用	EXISTS句の使い方
第10回	条件分岐	CASE式
第11回	トランザクション処理	ロックなど
第12回	総合演習1	P112～P119各種問題
第13回	総合演習2	P121～P123各種問題
第14回	データベースの応用	分散データベースとデータウェアハウス
第15回	模擬試験	模擬試験の実施
第16回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	教養講座		担当教員	石濱 友裕	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	前期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	講義	単位数	4

授業概要	本講義は大学の学位取得に相応な知識・教養を身につけるため、様々な知識領域についての講義を数回ずつ実施していく。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	50 %	課題	0 %	他	50 %
教科書	なし			副教材および 参考文献		配布資料	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	耳から学ぶ英語①	A Roundtable－The Lion King of the Jungle
第2回	耳から学ぶ英語①-2	前回の解説
第3回	耳から学ぶ英語②	A Commencement Address－About Love and Loss by Steve Jobs
第4回	耳から学ぶ英語②-2	前回の解説
第5回	耳から学ぶ英語③	A Commencement Address, Continued－About Love and Loss by Steve Jobs
第6回	耳から学ぶ英語③-2	前回の解説
第7回	遠隔学習のためのパソコン活用①	プレゼンテーションの基本
第8回	遠隔学習のためのパソコン活用①-2	プレゼンテーションの基本 解説と演習
第9回	遠隔学習のためのパソコン活用②	プレゼンテーションの技法
第10回	遠隔学習のためのパソコン活用②-2	プレゼンテーションの技法 解説と演習
第11回	遠隔学習のためのパソコン活用③	パソコンを今後の学習にどう生かすか
第12回	遠隔学習のためのパソコン活用③-2	パソコンを今後の学習にどう生かすか 解説と演習
第13回	レポート作成①	レポート作成
第14回	レポート作成②	レポートのレビュー、提出
第15回	情報学へのとびら①	データベースの基礎
第16回	情報学へのとびら①-2	データベースの基礎 解説と演習

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	情報学へのとびら②	ソフトウェアの開発
第18回	情報学へのとびら②-2	ソフトウェアの開発 解説と演習
第19回	情報学へのとびら③	情報通信技術が変える社会
第20回	情報学へのとびら③-2	情報通信技術が変える社会 解説と演習
第21回	日常生活のデジタルメディア①	安全・安心とデジタルメディア
第22回	日常生活のデジタルメディア①-2	安全・安心とデジタルメディア 解説と演習
第23回	日常生活のデジタルメディア②	デジタルメディアと個人
第24回	日常生活のデジタルメディア②-2	デジタルメディアと個人 解説と演習
第25回	日常生活のデジタルメディア③	デジタルメディアと社会
第26回	日常生活のデジタルメディア③-2	デジタルメディアと社会 解説と演習
第27回	総合演習①	「耳から学ぶ英語」の演習
第28回	総合演習②	「遠隔学習のためのパソコン活用」の演習
第29回	総合演習③	「情報学へのとびら」の演習
第30回	総合演習④	「日常生活のデジタルメディア」の演習
第31回	模擬テスト	模擬テストの実施
第32回	期末テスト	期末テストの実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	アルゴリズム		担当教員	大石 有里	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	本科目は、プログラミングの基礎となるアルゴリズムの知識取得を主目的とする。 また、将来的に求められる論理的思考力を養う事も目的の一つとする。 前半はフローチャートを中心に学習し後半は擬似言語、文章問題も交えて進めていく。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	アルゴリズムとデータ構造			副教材および 参考文献		プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	アルゴリズムの基本	授業の進め方、アルゴリズムとは、フローチャート
第2回	基本データ処理	変数と定数
第3回	流れ図の基本パターン	条件分岐、複合条件
第4回	流れ図の基本パターン	繰り返し処理
第5回	計算のアルゴリズム	合計と平均、べき乗の計算
第6回	計算のアルゴリズム	最大値、最小値
第7回	配列	配列とは、一次元配列
第8回	一次元配列	一次元配列の操作、挿入・削除
第9回	二次元配列	二次元配列の操作
第10回	中間復習	1～9回目の内容の総復習
第11回	探索アルゴリズム	探索とは、線形探索
第12回	探索アルゴリズム	二分探索
第13回	探索アルゴリズム	探索の総復習
第14回	総復習	期末試験対策、総復習
第15回	模擬試験	模擬試験の実施
第16回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	企業と法務		担当教員	大石 有里	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	IT企業で働くうえで必要となる管理技法や、企業に関する基礎知識、関連法規に関する講義を実施する。 今学期の授業ではあくまで概要のみ解説し、具体的な管理手法の中身や手順については後期の授業内で解説する						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	IT戦略とマネジメント			副教材および参考文献		なし	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、企業活動	授業ガイダンス、企業理念、企業活動
第2回	経営科学	応用数学/オペレーションズリサーチ/IE分析手法/QC手法
第3回	法務と標準化	知的財産権/労働関連・取引関連法規/標準化と認証制度
第4回	経営戦略①	経営戦略マネジメント
第5回	経営戦略②	ビジネスインダストリ
第6回	情報システム戦略	情報システム戦略の概要、情報システム企画
第7回	開発技術①	システム開発技術
第8回	開発技術②	ソフトウェア開発技術
第9回	中間テスト	中間テストの実施
第10回	プロジェクトマネジメント①	プロジェクトマネジメント概要、プロジェクトマネジメントプロセス
第11回	プロジェクトマネジメント②	プロジェクトの範囲/資源/時間/コスト
第12回	プロジェクトマネジメント③	WBS、アローダイアグラム、ファンクションポイント
第13回	サービスマネジメント	サービスマネジメント概要、サービスマネジメントの手法
第14回	システム監査	システム監査、内部統制
第15回	期末テスト対策	期末テスト対策
第16回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	基本情報技術者試験対策		担当教員	根本 航太	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	サーティファイ情報処理検定3級、2級1部合格を目指し、次年度受験予定のIPA午前免除合格を目指すために、主に過去問の演習と解説を行い合格を目指す。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	ITワールド			副教材および参考文献		オリジナル	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	科目のガイダンス	自己紹介、授業の進め方、過去問演習 コンピュータの基本構成
第2回	ハードウェア	過去問演習 コンピュータのデータ表現
第3回	ハードウェア	過去問演習 中央処理装置と主記憶装置
第4回	サーティファイ3級対策①	過去問演習 ピックアップ
第5回	サーティファイ3級対策②	過去問演習 第51回
第6回	サーティファイ3級対策③	過去問演習 第55回
第7回	サーティファイ2級1部対策①	過去問演習 ピックアップ ハードウェア
第8回	サーティファイ2級1部対策②	過去問演習 ピックアップ セキュリティ
第9回	サーティファイ2級1部対策③	過去問演習 第50回
第10回	サーティファイ2級1部対策④	過去問演習 第52回
第11回	サーティファイ2級1部対策⑤	過去問演習 第56回
第12回	午前免除問題対策①	過去問演習 令和2年6月
第13回	午前免除問題対策②	過去問演習 令和2年7月
第14回	午前免除問題対策③	過去問演習 令和3年6月
第15回	総まとめ	総合演習問題
第16回	期末試験	期末試験

授 業 計 画

No.1

授業科目	Java基礎演習		担当教員	石濱 友裕	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	前期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	演習	単位数	2

授業概要	本講義は基本情報技術者試験の出題分野であり、かつシステム開発でも需要の高いJava言語の書き方についての講義、演習を行う。 週2コマの授業を1セットとし、新しい文法に関する講義を1コマ、演習を1コマとして授業を行う						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	新・明解Java入門			副教材および参考文献		paizaラーニング	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス	授業のガイダンス、環境準備、Javaプログラミングの実行
第2回	Javaプログラミングとは①	変数の利用、演算子による計算、データの型
第3回	Javaプログラミングとは②	変数、演算子、データ型の演習
第4回	条件分岐①	if文、else if文、比較演算子
第5回	条件分岐②	if文、else if文、比較演算子の演習
第6回	複数の条件分岐①	AND演算子、OR演算子
第7回	複数の条件分岐②	AND演算子、OR演算子の演習
第8回	while文による繰り返し①	while文、do文との違い、while文の活用例
第9回	while文による繰り返し②	while文、do文との違い、while文の活用例の演習
第10回	for文による繰り返し①	for文、for文のネスト
第11回	for文による繰り返し②	for文、for文のネストの演習
第12回	配列①	配列の定義、初期化、for文による配列の利用
第13回	配列②	配列の定義、初期化、for文による配列の利用の演習
第14回	多次元配列①	多次元配列の定義、初期化、利用
第15回	多次元配列②	多次元配列の定義、初期化、利用の演習
第16回	メソッドについて①	メソッドの定義、利用

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	Java基礎演習	メソッドの定義、利用の演習
第18回	オブジェクト指向とは①	クラスの定義、呼出し、メンバ変数
第19回	オブジェクト指向とは②	クラスの定義、呼出し、メンバ変数の演習
第20回	オブジェクト指向とは③	メンバ関数、コンストラクタ
第21回	オブジェクト指向とは④	メンバ関数、コンストラクタの演習
第22回	アクセスレベルの指定①	アクセス修飾子、getter、setter
第23回	アクセスレベルの指定②	アクセス修飾子、getter、setterの演習
第24回	静的メンバ①	静的メンバ変数、メンバ関数
第25回	静的メンバ②	静的メンバ変数、メンバ関数の演習
第26回	継承①	クラスの継承、メソッドのオーバーライド
第27回	継承②	クラスの継承、メソッドのオーバーライドの演習
第28回	インタフェース①	インタフェースの定義、インタフェースの実装
第29回	インタフェース②	インタフェースの定義、インタフェースの実装の演習
第30回	総合演習①	変数～メソッドまでの復習問題
第31回	総合演習②	オブジェクト指向の復習問題
第32回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	C言語基礎演習		担当教員	竹野谷 義彰	クラス	ITスペシャリスト科 1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパイラとしてのVisualStudio. NETの操作方法を確実に覚え、机上で学んだC言語文法やアルゴリズムを実環境にて実習する。 ・基本文法 (scanf,printf,if,for,while,switch,配列)は理解し、自分でプログラミングできること。 						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	40 %	課題	40 %	他	20 %
教科書	「入門 C言語」： 実教出版			副教材および 参考文献		・プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス、PC使用の手順	基本操作方法、文字の入力、プリントアウト方法
第2回	C言語プログラム作成手順と概要	エディタ、コンパイル、リンク、実行の流れ
第3回	定数/変数	基本データ型
第4回	データ型	修飾子
第5回	画面への出力①	printf関数の使い方
第6回	キーボードからの入力	scanf関数の使い方
第7回	演算子の実習	四則演算、算術、代入、インクリメント演算子
第8回	条件分岐について	if文
第9回	条件分岐(論理演算子付)	関係・等価演算子
第10回	多岐選択について	if-else文、switch文
第11回	if文とswitch文のチャレンジ実習	これまでの知識を組み合わせ、自力でプログラム作成
第12回	一定回数の処理繰返しについて	for文
第13回	for文とif文の組合せの実習①	これまでの知識を組み合わせ、自力でプログラム作成
第14回	for文とif文の組合せの実習②	これまでの知識を組み合わせ、自力でプログラム作成
第15回	模擬試験	模擬試験の実施
第16回	期末試験	期末試験の実施